

令和8年度 目標設定書（子ども課）

子ども課長 岩下 幸一

1 当課の主な業務は次のように定義されます。		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所への入退所に関すること ・ こども医療及びひとり親家庭等の医療に関すること ・ 児童手当、児童扶養手当及び特別児童扶養手当に関すること ・ 放課後児童健全育成事業に関すること ・ 児童館に関すること 		
2 当課の業務は次の方々のために行われます。		
毛呂山町に住む18歳未満の児童並びに子育て中の保護者の皆さんのために。		
3 当課の掲げる数値目標と、その根拠は次のとおりです。		
目標名	子どもの居場所の充実	
指標名	学童保育所の保護者満足度【年度末時点】	
数値目標	初期値（令和5年度）	91.4%
	現状値（令和7年度）	88.7%
	目標値（令和8年度）	92.0%
	最終目標値（令和11年度）	96.4%
設定根拠	第六次毛呂山町総合振興計画前期基本計画	
事業概要	就労等により常時留守家庭となる児童の健全育成を図るため、学童保育所の運営を行います。	
4 目標達成に向けた取り組みにより、次の効果が期待されます。		
学童保育所のサービスを向上させることで、子どもの居場所の充実が図られます。		
5 昨年度の取り組みの反省点は次のとおりでした。		
学習支援日を週2回に拡充したことで、安定した学習環境の提供が可能となりました。一方で、一部の児童については、学習への意欲や取り組み方にバラつきが見受けられます。学習支援を継続しつつ、少しでも児童が楽しみながら机に向かえるよう、学習環境づくりを工夫してまいります。		
6 当課は掲げた目標達成のために、次の取り組みを行います。		
令和7年度は正規職員の人数が増えたことで、手作りおやつを導入することができました。令和8年度はさらに手作りおやつを工夫し、食育を推進します。また、令和7年度末より自主学習支援の動機付けとしてシール帳、ごほうびバッジを導入したところ、児童の学習意欲が向上したため、令和8年度も引き続き実施します。あわせてクイズ形式の学習も取り入れ、自主学習の習慣化に努めます。		

令和8年度 目標設定書（子ども課）

子ども課長 岩下 幸一

1 当課の主な業務は次のように定義されます。		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所への入退所に関すること ・ こども医療及びひとり親家庭等の医療に関すること ・ 児童手当、児童扶養手当及び特別児童扶養手当に関すること ・ 放課後児童健全育成事業に関すること ・ 児童館に関すること 		
2 当課の業務は次の方々のために行われます。		
毛呂山町に住む18歳未満の児童並びに子育て中の保護者の皆さんのために。		
3 当課の掲げる数値目標と、その根拠は次のとおりです。		
目標名	幼児教育・保育サービスの充実	
指標名	病後児保育利用者数	
数値目標	初期値（令和5年度）	27人/年
	現状値（令和7年度）	60人/年
	目標値（令和8年度）	60人/年
	最終目標値（令和11年度）	40人/年
設定根拠	第六次毛呂山町総合振興計画前期基本計画	
事業概要	病後の回復期の児童を対象に保育を行う、病後児保育事業を行います。	
4 目標達成に向けた取り組みにより、次の効果が期待されます。		
多様な保育ニーズに対応することで、働く子育て世帯が安心して子どもを預けることができます。		
5 昨年度の取り組みの反省点は次のとおりでした。		
令和7年度は町公式LINEでの登録受付を開始するとともに、PR動画を作成し、利用拡大に努めました。利用者のうち5割がゆずの里保育園の入所児童であることから、他の保育施設の利用拡大を図る必要があります。		
6 当課は掲げた目標達成のために、次の取り組みを行います。		
ゆずの里保育園以外の園の利用を向上させるため、各園に配布する看護師だよりや町のHP等で事業の周知に努めます。		